

幼稚園・保育所と一貫教育校について

○提案

建設を予定している一貫教育校(施設一体型)は、小学校(まなづる小学校)と中学校(真鶴中学校)とで構成するものとし、幼稚園(ひなづる幼稚園)及び保育所(貴船愛児園、石田保育園)は含めない。

○理由

- ① 5歳までの乳幼児期と、6歳から14歳の児童・生徒期では、子どもの生活環境に大きな違いがある。乳幼児期では、安全・安心な「遊び」の空間を大切にしており、児童・生徒と一緒にその空間の確保が現実的に難しい。
- ② 町内の保育所はすべて民営で、長年、「保育」を中心にそれぞれの方針で運営を行ってきており、「教育」を柱とする施設に併設することは早急である。
- ③ 義務教育学校になった場合、教職員の組織自体が大きくなり、幼稚園の園長と小中一貫教育校の校長を一人で担うことは難しく、円滑な運営ができない可能性が高い。

○その他

- ・ 幼稚園及び保育所の将来のあり方については、子どもの人口推移を見守りながら、今後の検討課題とする。
- ・ 真鶴町の一貫教育とは、幼稚園教育と小中学校の教育を含めた考え方(12年間)であり、今後も一貫教育校と連携し、幼稚園教育はその基礎を培うものとする。